



ひとすじの涙を笑顔に

—それは慈愛の心で—

国際ロータリー 第2650地区

2002～2003年度 ガバナー 岡村 吾郎

日本は海も山もあり、食べ物は豊富で四季折々の変化があります。

その日本で生まれた私達は他人や自然に対して、豊かなイマジネーションを育ててきました。目の前のものを独占せず、人と分かち合うゆとりをもち、他人への気配りと、関係を大事にする文化を育ててきたのですが、戦後の教育は日本の伝統や歴史を否定し、極端な自由主義の文明や知識のみに変わりました。随って子供の教育に必要な知育、徳育、体育の3つの教育も定まらず、体力も弱くなり、社会への気配りも少なく、知育のみに傾いています。特に小中学生に著明で、昔の子供に見られた明るさ、笑顔がなく、特に塾帰りの子供達の顔は、無表情そのものであります。

今、我々ロータリアンが一番手をつけなければならない活動は、現在の日本人に笑顔を取り戻すことです。

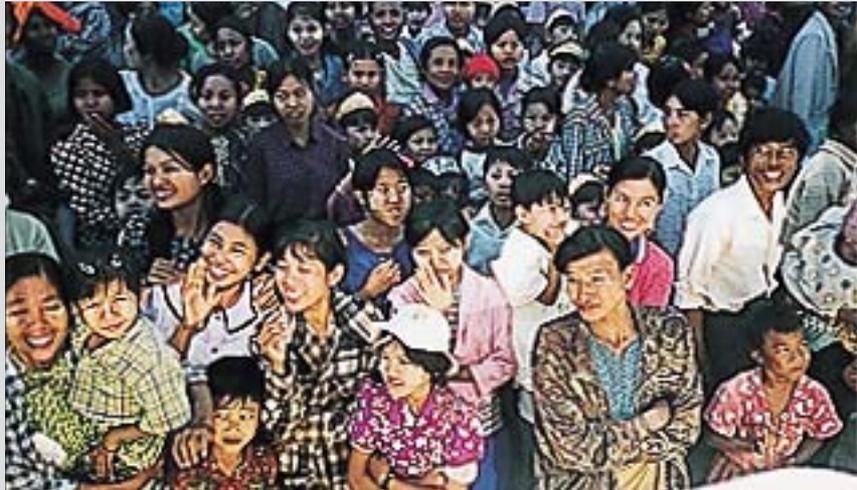
人間には色々な表情があります。その中で最もすばらしい表情は笑顔です。素直な心から出てくる笑顔ほど魅力的なものはありません。笑顔はまわりの人の心を和ませ、太陽のように明るく照らします。人と付きあっていく上にも、仕事をすすめていく上でも潤滑油になるのです。

この笑いを忘れた子供が大人へと増えつつあり、すぐに切れて殺生を起こすのもこれが為であろうと思われます。

自分の顔は自分のものだけでも、鏡がなくては自分を見ることは出来ない。だから、自分の顔は自分が見るためのものではなく、皆んなに見ていただくためにあるのです。

貴方が笑ったら、まわりも笑う。と云うことをしっかり心にとどめて下さい。

ある病院の入院患者へのアンケートで「あなたはどんな看護師さんが好きですか」と尋ねたところ、結果は技能の高い人でも、経験年数でもなく、まして美人でもなく、トップは「よく笑う看護師さん」でした。如何に笑いが心を癒してくれるかがわかります。



又、日本顔学会会長、香原氏が盲学校を訪れ、子供たちに会った時、突然一人の子供が近寄り、両手で香原氏の顔を触り、「にっこり」と笑って列に戻ったそうです。どうやら人物テストに合格したのです。顔を触っただけで良い人か悪い人がわかるようです。微笑すると顔の筋肉は柔らかくなり、怒ると硬くなるのです。ですから、顔を見るだけでも相手の精神状態や人格が読み取れるのです。

医学的に見た場合、「笑う」とアセチルコリンと云う物質が高まり、副交感神経の働きが強まる。同時に末梢血管は拡がり、血圧は下がり、心臓の負担は軽くなり、血中糖分が減り、唾液、胃液などの分泌は高まります。

併し、不快を感じたり、怒ったりした場合には、その反対の現象が起こるのであります。

ロータリアンの皆さん、慈愛の心（思いやりの心、思いやりの言葉、思いやりの行い）でお互いが接するならば、心を寄せ合い共に喜びを分かち合える社会、いや世界になると信じています。

皆さん、心に笑いを忘れないように。



雑誌月間によせて

地区広報・雑誌委員会 委員長 伊藤 哲雄（京都洛西RC）



「ロータリーの友」目次ページにあるマーク

「ロータリーの友」が現年度第1号（第50巻7月号）からイメージを一新しました。両面表紙という独特の装丁はそのままに、サイズアップして紙質もよくなりカタログ誌のような体裁になりました。文字が読みやすくなったと感じられませんか。実は編集にDTPが導入され、印刷方法が写植からオフセットに変わったのです。文字が見やすくなったのは、紙質と印刷精度の向上のおかげでしょう。もっとも今どきまだ写植だったとは、さすが伝統

を誇る「友」だと、妙なところで感心してしまいますが・・・。

ところで新しい「友」の目次ページの片隅に図のようなマークが入っているのをお気づきでしょうか。ロータリアンを結んで50年、「友」の創刊は今から50年前の1953年1月でした。当時それまで1地区だった日本のロータリーが2地区に分区されたため、別れを惜しんで密接な交流を続けることを目的に創刊された機関紙が「友」の始まりです。創刊号の発行部数は3,300部でした。国際ロータリーの情報を中心とした横組みページと日本のロータリアンの交流の場である縦組ページそれぞれに表紙を持つという独特の両面表紙形式になったのは1972年1月号からで、これは現在も引き継がれています。

「友」の大きな転機はなんと言っても1980年7月号より公式地域雑誌（The regional magazines）に指定されたことでしょう。現在RIに公認された公式地域雑誌は世界で24誌発刊されており、121ヶ国、20ヶ国語で出版され、その定期購読者数は約75万人に達しています（2001年6月現在）。「友」は1990年の世界地域雑誌編集者セミナーにおいて最も完成度の高い公式地域雑誌としてRI会長総合優秀賞を受賞しています。なお公式地域雑誌に指定されたことで「友」を購読することが義務となったわけで、雑誌購読が例会出席と会費納入とともにロータリアンの三大義務と言われる所以です。しかし義務となると敬遠したくなるのが人間の常で、なかなか読まれていないのが「友」の実状のようです。

RIの公式雑誌THE ROTARIANの前身のThe National Rotarianが創刊された1911年1月25日を源流とし、現在では4月が特別月間になっている雑誌月間は「ロータリーの情報の普及を図るために、公式雑誌THE ROTARIANおよび公式地域雑誌の購読と活用を促進する」とむつかしく定義されています。要するに日本の場合は「友」を読みましようとして声を掛け合う月間です。皆さん、ロータリー情報満載の「ロータリーの友」を読みましよう。

2002～2003年度

「第2回合同地区委員会開催」

2月8日(土)奈良県新公会堂において、岡村吾郎ガバナー、諮問委員、パストガバナー、福井ガバナーエレクト、神谷ガバナーノミニ、地区役員、地区委員の出席のもと第2回合同地区委員会が開催されました。第1部の全体会議では公式訪問を終え、半年間の活動を総括した感謝の挨拶が岡村ガバナーよりあり、地区資金の中間報告が松山地区副会計長よりされました。その後、委員会別に協議され、第2部の全体会議では各委員長から上半期の活動状況と下半期の活動計画の報告がありました。



意義ある業績賞の推薦事業決定

「“洛西チャリティーフェスティバル2002”（京都洛西RC）」

意義ある業績賞 委員長 西村二郎（京都南RC）

今年度の意義ある業績賞には6クラブからのエントリーがあり、2月8日(土)奈良県新公会堂において「意義ある業績賞委員会」が開催され、イ)「ミニ・ライラ」武生府中RC ロ)「環境保全～21世紀における望ましい生活環境づくりを目指して～」彦根RC ハ)「滋賀湖北RC公式訪問（親睦・国際交流・職業奉仕委員会合同）」滋賀湖北RC ニ)「社会奉仕の新しい試み～地域社会へのアプローチ・ふれあいの種を播こう～」京都洛中RC ホ)「洛西チャリティーフェスティバル2002」京都洛西RC ヘ)「知的障害者への理解と支援」京都朱雀RCについて審議、検討された結果、京都洛西RCの「洛西チャリティーフェスティバル2002」に決定しました。

姉妹クラブを探しています



晋州仙鶴ロータリークラブが京都市内のクラブと姉妹締結を希望されておられます。ご希望のクラブはガバナー事務所までご連絡下さい。

〈韓国・晋州仙鶴ロータリークラブ〉

1988年6月7日創立。1988年11月27日承認を受け、15年の歴史があり、毎週月曜日、例会場は晋州市鳳谷洞23-13番地にあるロータリー会館です。現在会員113名、3590地区内では最多会員クラブです。1999年12月釜山馬韓ロータリークラブ（全羅北道）と姉妹締結し、合同奉仕活動を行っています。

また、3590地区に於いて、3年連続優秀クラブに選ばれています。次年度国際奉仕委員長、金圭範氏ですが、米山奨学、SY-S特別奨学生として日本に留学されておられました。



創立45周年記念式典・祝宴を終えて

京都西ロータリークラブ 幹事 安井隆廣

京都西ロータリークラブ創立45周年記念式典・祝宴が平成15年2月10日（月）リーガロイヤルホテル京都にて、第2650地区ガバナー岡村吾郎様を始めパストガバナーの皆様、創立時エクステンション委員でパストガバナーの西村大治郎様、市内ロータリークラブの会長・幹事様、姉妹クラブの皆様、ご来賓の方々、会員・家族など270人という多数のご参加を得て盛大に開催されました。

記念式典においては、記念事業報告・目録贈呈（内容後述）、永年会員並びに歴代会長への記念品贈呈、会員増強表彰が行われました。記念講演では、上智大学名誉教授 渡部昇一氏による「これからの日本」を頂き深い感銘の内に式典を終えました。

祝宴においては、浦田会員、茂山会員による祝舞に始まり和やかな雰囲気の中で場も盛り上がり、懇親を深めることができました。

記念事業については、ロータリー全体が昨今やや地域との繋がりが希薄になりつつあるなか、当クラブとしては改めて所在地域との結びつきを念頭に置いて、以下の通りの事業を遂行しました。

- 事業1. 小型パトロールカーを太秦警察署へ寄贈（管内に狭い道路を抱える太秦署と打合せの上。）
- 事業2. 右京ふれあい文化会館へピアノを寄贈（未永く音色による「癒し」を人々の心に与える。）
- 事業3. 植樹した杉の精英樹を嵐山の法輪寺に寄贈（10周年・20周年記念事業に植樹した北山杉を寄贈して名勝『嵐山の森』として保存。）
- 事業4. 物故会員の慰霊法要（高雄山神護寺金堂にて）
- 事業5. クラブ事務局の合理化（IT化）（インターネットを通じたグループウェアの構築）

創立45周年を機に未来へ向かって奉仕の理想に邁進し、活力あるクラブづくりを進めたく考えております。本誌を借りて、記念例会・祝宴にご出席或いはお世話になりましたの方々にお礼を申し上げ結びと致します。



研究グループ交換

Group Study Exchange

G.S.E.ミズーリチーム 3月21日に来日！

地区G.S.E.委員会 委員長 木村憲一（福井RC）

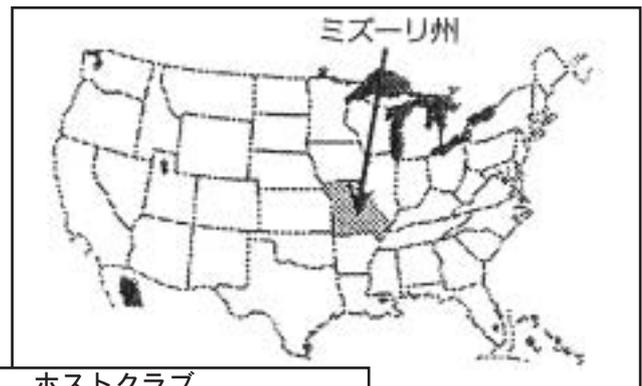
〈アメリカ・ミズーリ州「D.6080」とのG.S.E.〉

2001年12月に、今年度の相手地区であるDuane Benton氏と初めてメールを交わして以来、1年4ヶ月が過ぎ、ようやくD.6080 G.S.E.チームの来日が実現する運びとなりました。

この間、メールを送ると2日以内に返事が帰ってくるDuane Bentonガバナーの実直なお人柄と、今年2月に入って毎週のようにチームの情報を提供してくれるMrs. Dee Hudson G.S.E. 委員長の熱心さを肌で感じ、相手地区のこのG.S.E.プログラムに対する期待がひしひしと伝わってきます。

今回は、Duane Bentonガバナーの粋な計らいで、相手チームの帰国日と我が地区のチームの出発日を同じ日として、同じ便で4月21日にミズーリへ帰る（行く）ことになっています。

地区内滞在中、受入5クラブの皆様には、お世話をおかけしますが宜しくお願い致します。また、地区内のロータリアンの皆様も、地区大会やお住まいの街中で彼らを見かけましたら、気軽に声をかけてあげてください。



受入スケジュール

| 日 程 | ホストクラブ |
|----------------------|--------------------|
| 3/21 NW69便 16:55 関空着 | 来日 |
| 3月21日(金)～3月27日(木) | 奈良大宮RC |
| 3月27日(木)～4月1日(火) | 亀岡中央RC |
| 4月1日(火)～4月7日(月) | 京都紫竹RC(地区大会) |
| 4月7日(月)～4月13日(日) | 福井西RC |
| 4月13日(日)～4月14日(月) | GSE委員会(広島エクスカーション) |
| 4月14日(月)～4月20日(日) | 甲西石部RC |
| 4月20日(日)～4月21日(月) | GSE委員会(大阪、帰国見送り) |
| 4/21 NW70便 14:20 関空発 | 帰国(D.2650チーム出発) |

D.2650 G.S.E.チーム派遣日程

4月21日(月) 関空発 NW70便14:20 デトロイト経由 カンザスシティ
ミズーリ6080地区 5月21日(水)まで滞在

5月21日(水)～5月26日(月) ニューヨーク、トロント等研修

5月27日(火) 関空着 NW69便18:10



チームリーダー
ロン ハンメル

1006 Channel Road
Gravois Mills, MO 65037
rohammel@usmo.com

私は妻のスーザンとミズーリの美しいオザーク山のふもとにあるオザークスの湖周辺に住んでいます。私は木製品を作っており、自分の店で職人スタイルの家具作りを楽しんでいます。私の好きなことのひとつが釣りで、私の妻は私が釣竿を持って生まれてきたと信じています。私達は旅行トレーラでアメリカ全土を旅してきました。その時にまず用意するのは釣竿と釣り用具一式で、車の上にはカヤックを乗せています。トーナメントではバスを釣ります。そのトーナメントで自分の速いモーターボートを運転するのがとりわけ大好きです。日本にいる間には是非釣りの道具を売っているお店に行ってみたいです。私たちには4人子供がおり、下の二人の女の子ページとトリスティンはミズーリ州のスプリングフィールドに住んでいて、ここから2時間ほどの所です。上の二人はコロラド州に住んでいて、デンバー周辺に住んでいる孫6人と姪と甥9人によく会いに行きます。

過去16年私はロータリアンとして活発に活動してきました。妻スーザンと私は1999年のイギリスでの友情交換プログラムを楽しみました。私どものローリー／サンライズビーチロータリークラブのプール委員会の委員長として過去4年活動してきました。1999年には地域の室内プールを造る事が出来ました。

職業的には1995年にゲート・ラバー・カンパニーを定年退職しました。そこで30年間、ジェネラル・マネージャーや副社長としてバッテリー部門で働いていました。ゲートでの身分保障権がある間に海外へ旅行する機会があり、日本へも4回行きました。最近では1996年に日本を旅行しています。日本はいつも私が行きたいと思う好きな場所の一つで、人々や文化との触れ合いを楽しんできました。現在はバッテリー業界でコンサルティングを行っていて、顧客のために海外へ行く事があります。日本でもバッテリー製造業の会社を訪問したいと思っています。

2650地区の皆さんに会って、お互いの地区の情報を分かち合える事を楽しみにしています。日本でホストをして下さる方々の家庭で共に過ごさせていただくことを大変誇りに思い喜びを感じております。



ローリ ウィリアムソン

1302 Bradford Rd.
Willow Springs, MO 65793
Email:williamson-krusel@missouri.edu

こんにちは。私は34歳、未亡人、子供なしですが、犬を1匹（マギー）猫を2匹飼っており、7歳の姪（エミリー）と4歳の甥（タイ）そして8ヶ月の“名付け子”（ゲイブ）がいます。ミズーリ州の田園地帯オザークスのマウンテン・ビュー近くに住んでいます。私の家はマウンテン・ビューから20マイル離れたところにあり、パインクリーク川の流れる140エーカーもの森や草原の広がるところにあります。私はこのオザークスが大好きです。

私は主に生物科学を勉強してきました。コロンビアにあるミズーリ大学で生物学の学士を取り（1990年）、ミシガン大学医学部で人類遺伝学の修士を取りました（1991年）。現在、ミズーリ大学で遺伝学カウンセラーとして働いており、南ミズーリ地方遺伝学施設、農村医療遺伝学プログラムの指導もしております。私の職業上の興味は公衆衛生遺伝学や地方のヘルスケアであり、また、医療遺伝学を第一次医療に取り入れることです。日本では医療遺伝学の分野で働く人々との出会いや、病院や地域のクリニックへの訪問を希望しています。

休みの時には園芸、キルト作り、読書、ハイキング、カヌーなどを行っています。また、活力を基礎にした医学（訳者注：気功や鍼灸、ハーブなどによる医療のことと思われる）に興味がありますし、精神的な成長のために多くを学びたいと思っています。日本にいる間に、野菜畑や花畑、紙作り、日本独自の織物（布地）芸術を見たり、田舎を旅したりしたいと思っています。東洋医学の開業医や僧侶にも是非会ってお話を伺いたく思います。仏教のお寺で瞑想したり、ヒーラー（治療者）から診断を受けたりすることを考えるとワクワクします。

この旅は私にとっていろいろな意味で重要です。皆様にお会いできる事、そして互いの文化や生活を分かち合える事を楽しみにしています。



トム オコーナー

806 Leawood Terrace
Columbia, MO 65203
tommy@h2oc.com

私は中西部で生まれ、人生の大半をミズーリ州、コロンビアで過ごしてきました。職業は、給水・廃水の水質が専門の環境技術者です。趣味は音楽、芸術、お祭り、芝居、音響設計、レコーディング、写真撮影、デジタルビデオ製作、パソコン（マック）、ローラーブレード、グラフィックデザイン、パーティーの主権、真空管、バイク、ぶらぶら歩き、修繕です。

私はこの旅をとっても楽しみにしています。この訪問のユニークな特質だけではなく、見知らぬ日本に行くことにも胸をときめかせています。海外旅行としては今までに、スウェーデン、スイス、フランス、スペイン、ポルトガル、オランダ、イギリス、メキシコ、ベリーズ、ジャマイカ、ニュージーランド、オーストラリア、韓国、フィリピンに行きました。

日本では、現代美術ギャラリー、博物館、庭園に行ってみたいですし、基本的にはいろいろな景色を見たいと思っています。また、楽しみにしているのは、友人を作ること、ライブでやっている芝居や音楽（ジャズからハードコアまで）を鑑賞すること、相撲や他のスポーツ観戦、お祭りや特別行事への参加、目的のあまりないトレッキングなどで、思いっきり文化を吸収したいと思っています。全般には楽しみたいです。

GSEプログラムへの参加によって、環境問題のさまざまな解決法や取り組み方を学び専門的に成長したいと思っています。環境への慣例、方針、規則は地球を統治している自然科学に基づいているだけでなく、文化、信仰、歴史、他たくさんの要因に影響をうけています。島国日本は環境的に何を要求され、人々はその要求に応えてきたのかを知る事は、地球規模の環境問題への私の理解を間違いなく広め、将来私の仕事に対する大きなはっきりした効果をもたらしてくれるでしょう。



マット レイスキー

900 Shakertown Way
Columbia, MO 65203
Phone: 1-573-256-1617
ReiskeM@missouri.edu

私の名前はマット・レイスキー、38歳です。結婚して二人の子供がいます Isabeau（たぶんイザボー11歳とジョーダン7歳）。私の妻（レネット）はミズーリ大学ヘルスケアでグラフィックと写真撮影のコーディネーターをしています。私の子供たちは学校やサッカー、野球、バスケットボール、フットボールといった課外活動に熱心に取り組んでいます。また、私達は犬を2匹飼っています（ゾウというウェルシュコーギー犬とスピードゥというペキニーズ犬）。

私はTruman State大学でグラフィックデザインの学士を取りました。卒業するとコロンビアのミズーリ大学での職を得て、16年近く働いています。現在は就職部（工学部学生）と学生の募集をする仕事に携わっています。この仕事では、アメリカ全土とプエルトリコへ何度も旅行しなければなりません。その訪問には産業界のリーダーや、工科大学と仕事上の関係を確立するよう奨励している有望な学生と共にいきます。

自由な時間は家族と過ごすのを楽しみにしています（サイクリング、サッカー、映画など）。私の趣味はゴルフ、野球、サッカー、料理、旅行、有名人人形やスポーツ選手のカードの収集です。私はスポーツが大好きで、好きなチームは、LAレイカーズ（全米バスケットボール協会）、インディアナポリスコルツ（ナショナルフットボールリーグ）シカゴカブズとミズーリタイガース（メジャーリーグベースボール）です。

工科大学での現在の仕事柄、日本の大学を是非訪問したいと思います。教育という点で、私たちの間には共通点がいくつもあると思いますが、私はいつでも違いというものを探しています。研究施設やプロジェクトもいくつか見れることを願っています。また、そちらの地域にある生産会社を訪問する事にも興味があります。



スーザン グリフィス

216 Heather Lane
Columbia, MO 65203
sgriffith@socket.net

私の名前はスーザン・グリフィス、32歳です。ミズーリ州のコロンビアという大学の町に住んでいます。世界中からの学生を受け入れ、たいいていの主要な研究領域においての授業を提供するというこの環境が気に入っています。コロンビアには芝居、芸術、音楽やスポーツなどの楽しいものが常にあります。

この地域で唯一の保健センターで働く医師として、あらゆる年齢層そして様々な生い立ちを抱える人々の看護の仕事をしています。また、自分の育った町で働くという幸運に恵まれ、4世代の家族に囲まれて

暮らしています。仕事は忙しいですが、友達、家族そして犬（マーマレードというウェルシュ コーギー犬）と過ごす時間は作っています。

大学で11年間過ごし、学校で学ぶことはすべてやり終えたと思っていますが、まだ勉強は終わっていません。新しいことを学んだり、医学会議に出席したりするのは楽しい事です。私の最近の仕事には医学生生の指導があり、老人ホームの医務理事もしています。私の医療専門は老人病学で老人介護、特にホスピスでの看護です。

お寺、芸術、ホスピタリティで世界的に有名な京都を訪れるのを楽しみにしています。しかし、それだけではなく日本人がどのようにお年寄りに接しているか、どのように高齢化社会に対処しているのかを知りたいと思っています。

ミズーリの春は私の好きな季節で、釣りやサイクリングや外で過ごすのに素晴らしい時期です。京都と同じ様な気候だと思います。訪れる頃は桜が見事な時期ですね。古都を訪れる事、新しい友達を作る事、そして貴重な経験を医療や公衆衛生に係わる私の毎日の仕事に役立てられる事を思いわくわくしています。

highlight of YONEYAMA

ハイライトよねやま/寄付金速報

下半期の寄付・厳しいスタート

1月までの寄付金は、前年同期と比べ10%、約1億2千万の減少となりました。普通寄付金が6%、特別寄附金が12%減です。このままでは、1,000名の奨学生数を維持することが困難です。特別資金取崩しをどのようにして最小限に食い止めるか、当会では寄付増進タスクフォースを立ち上げました。「ハイライトよねやま」をご覧の方々に何か良い方策をお持ちの方がおられましたら、ぜひとも米山事務所までご連絡ください。(☎03-3434-8681)



ロータリー情報委員会だより

青少年委員会より新世代委員会へ

地区ロータリー情報委員会 委員長 瀨上 勝夫

現在RI理事会が指定している9つの月間の内、毎年9月に実施されている「新世代のための月間」がありますが、1996～1997年度から青少年活動月間が変わっていることは既に御存知のことと思います。

新世代とは年齢30歳までの若人のことを言います。我々ロータリークラブはこの月間中、新世代に焦点をあて、活動の強化推進に役立つ各プログラムを立案しなければなりません。新世代のための活動プログラムとなりますと広範囲にわたりますが、例えば青少年の職業相談、青少年交換、青少年の奉仕活動への参加、向学青少年への経済援助、レクリエーションプログラムを通じての援助理解、R.A.C.、I.A.C.との協同奉仕などがあげられます。そのためにもわが地区としては青少年活動委員会から新世代委員会に呼称変更を考えています。

クラブにおかれても新世代の多様なニーズに対応するため、将来への準備をすべきだと思います。

◎新世代委員会（京都府ロータリークラブの例より）

| | |
|------------|-------------|
| 青少年委員会 | 30歳迄の若い人 |
| インターアクト委員会 | 14歳から18歳迄の人 |
| ローターアクト委員会 | 18歳から30歳迄の人 |
| 新世代交換委員会 | 18歳から25歳迄の人 |

ローターアクトクラブ海外研修

地区ローターアクト委員会 委員長 長崎 一幸 (舞鶴東RC)

2002～2003年度、前期行事のメインの一つ、海外研修に37名の参加をえ、シンガポール (3310地区) へ向け、実施致しました。昨年度の海外研修は、思いもよらぬテロと言う世界を恐怖に巻き込んだ事件により止むなく中止せざるをえなかった海外研修で有りましたが、本年もご多分に漏れず出発迄、マレーシア等、近隣諸国におけるテロの勃発により不安材料を抱える事となり、外務省への問い合わせ関係各所との打ち合せを余儀なくされ、委員長として最終決断を下す難しさを痛感致しましたが全員何事もなく無事、帰国の途に着けたのが何よりと安堵致しました。6時間のフライトの後、シンガポール、チンギ空港に到着、現地アクターの迎えを受け、交流懇親会 (屋台街の屋台にて) から一日目が始まりました。現地の食事は、我々ロータリアンには剩りにも香辛料のきつさが鼻と口に付き閉口いたしました。アクター達は疲れもなく食欲旺盛で懇談会を楽しんでいました。二日目は現地アクターと共に、地区紹介や事業紹介そして模擬例会を行い後現地アクターの案内のもとバスや地下鉄を乗り継いでのウォークラリーを行いました。夕食はまたもや苦手な屋台での夕食、食後、アクターやロータリアンの家族の迎えをうけ、ホームステイ先へ、三日目、ボタニックガーデン (植物園) やセントーセ島巡りを楽しみ再会を約束しお別れパーティーを夕暮の海辺で楽しみ、現地アクターの見送りをえて帰国の途につきました。ハードスケジュールの中であっても現地アクターはのんびりとしていて我々は時間を気にしながら、苛々とした三日間でした。時間に無頓着と言うか物事に捉われないのか、大楽なのか、風土が人間を変えるのか其れとも我々が物事に急ぎ過ぎるのかと思いました。しかし彼らの国を憂う心、そして常に社会の動きに関心を持って生活している事は、アクターにとって学ぶことの意義は多かったと思います。また国内に於いて剩り必要としない英語、語学力の無さに改めて痛感致しました。アクターには是れからも国際交流の輪を広げ国際人としての飛躍を望みます。



海外研修



海外研修報告会

ローターアクト4地区合同情報交換・交流会

青少年地区担当幹事 大島 國裕 (奈良RC)

2003年1月25日(土)～26日(日)、六甲アイランドの神戸ベイシェラトンホテルにおいて、国際ロータリー第2640地区・2650地区・2660地区・2680地区ローターアクト4地区合同情報交換・交流会が大会テーマ「ROAD TO 2004」のもと、国際ロータリー第2680地区ローターアクトのホストで開催されました。

開催地区からは、ガバナー・パストガバナーと多数のロータリアン、我々の第2650地区からは、長崎 一幸地区ローターアクト委員長、地区ローターアクト委員の方々と一緒に参加させていただきました。今回のローターアクト4地区合同情報交換・交流会は4回目を迎え、今までにそれぞれの地区のホストで開催され

て来ました。

協議会においては、各地区のローターアクト達のそれぞれの活動がこの場所で意見交換され、明日から新たな活動の糧となったと思います。又、代表者会議では2004年に大阪で開催されるロータリー国際大会に、4地区のローターアクトが中心となりアクトとしてどのような形で参加、協力をしていくことが出来るのかを協議されました。ただ未だにRIの具体的な内容が知らされていない現状に多くの不安を抱いた内容となってしまった様に思います。しかしながらアクトと言う若さを武器に積極的に取り組んでいこうという姿勢を感じた様に思います。総勢323名アクトの情報交換・交流会、有意義な内容であったと確信しました。



【寄稿】 職業奉仕



HACCP-9000

岡島輝治（福井フェニックスRC）

昨今の食品事故、食品の安全を契機にHACCPという言葉が耳にするようになりました。HACCPの行なう衛生管理は製品ごとに行ない、その製品工程に従って、検証し、科学的に管理することによって食品の安全性をより高め、消費者に良い品質の製品を提供することを目的としています。



弊社では、HACCPシステムの重要な考え方に基づき、平成11年から勉強を始め、御客様と共に衛生規範、5S活動展開を行ない、北陸地方で本格的なHACCP工場を石川県加賀市に第1号店製麺工場を誕生させていただきました。そして第2号店として我福井フェニックスロータリークラブ会員のトワジエーム・コロンバ様の洋菓子工場、第3号店としてシ・ロード(棗加工工場)様の誕生をみる事が出来ました事は大変喜ばしい事です。社会・環境にも対応出来て、御役に立てる事が一番の喜びです。工事規模が大変大型になり、大変な仕事となりますが、仕事の達成感は大満足であります。どの御客様も単にきれいな工場・厨房でなく衛生管理に万全を期した工場・厨房を作りたいとの熱望の賜物です。これからはISO9001とHACCPを組み合わせる方向に傾いています。PPを含めて、さらに内部監査システムを組合せたHACCP-9000のライセンスを本年4月に弊社は取得致します。社会・環境に御役に立てて喜んで居る現状です。感謝。感謝。

娘の彼氏の条件と企業倫理

宮嶋誠一郎（彦根南RC）

私には、3人の娘がいる。一番上から小学校の6年生、4年生、2年生と、まだまだ幼いにもかかわらず、かなり前から娘たちに言い続けていることがある。それは「いいか、将来彼氏にする男の人は、こういう人にせんとあかんぞ。それはな、男の友達が沢山いるっていうことと、ずるくない奴っていうことの二つやで！」ということである。子供が小さい内からずいぶんうるさい親父だなあとと思われるかもしれないが、これは自分ながらによくいったものだなあと実は気に入っている。



ところで、この二つの条件を、会社に置き換えてみると、結構面白い。つまり「男の友達が沢山いる」ということを会社に置き換えると、「同業者の友達が多い」あるいは「同業者に好かれる」ということであり、又もう一つの「ずるくない奴」ということは、「卑怯な行ないをしない会社」「正々堂々とした会社」ということになり、まさにロータリー「4つのテスト」に通じているのではなからうか。

では、自分の会社はどうだろう。少なくとも、自分の娘たちに常に口煩く言っているくらいだから、一応はそういう会社たるべく、常に意識はしているはずだ。しかしながら、人間と言うものは実に弱い生き物である。立場が弱くなったり、逆に思わぬ幸運を目の前にしようものなら、つい安易な道、楽な道、欲まみれの道に走ってしまうものではないか。

だから経営者たるもの、常に自分を戒める手段を持っている必要があると思う。それは例えば「自分に苦言を呈してくれる友人、先輩、部下、伴侶（これを忘れたらイカン！）をもつ」ということであり、また稽古事や日々の掃除など「一つのことを継続する」ということ、さらには「常に読書を重ねて勉強し、反省する」ということなどであろう。私はロータリーを、そういう自分の「修行の場」として考えております。もちろんロータリーを「楽しむ」ということも忘れずに、である。

私が思う職業奉仕

中嶋 大 (奈良大宮RC)

1905年の我利と悪意に満ちた時代「よこしまで落ち着きのない都市」シカゴにて、友情とビジネスを結びつけ、それによって事業も栄え、友情も深めることが出来るのではないかというアイデアをもったポール・ハリス青年がロータリークラブを創設したことは、ロータリアンの総てがご存知のことです。



ところで、昨年アメリカで発生した大手企業の粉飾決算による倒産そして市場に対する不信感の増大が経済に大打撃を与えたわけですが、今日のこの厳しい経済情勢を考えると、大企業が弱肉強食の原理に基づいて競争に明け暮れていた当時のアメリカとは、一体何がどう変わったのでしょうか。経済的利益を追求するという人間の本能は、時代の変遷に伴い厚いベールに包まれるようになっただけで、基本的にはなんら変わりはありません。さすがになりふり構わず利益を露骨に追求した古き時代とは異なり、現在の大企業の経営理念はいずれも「地域社会のため」、「消費者のため」、「社員・従業員のため」と素晴らしいが、組織として動きだ出し経営目標が一旦数値化されるとその数値を達成すること自体が至上命令となり、その時点で当初の崇高な企業の理念はどこかへ忘れ去られてしまいます。その結果生じたのが、今日の不正経理、虚偽表示、等々ではないでしょうか。

実業人・専門職業人たるロータリアンが、奉仕の理想を受け入れ、各々の職業の中で実践することにより、その生き方こそが結果的に繁栄・正義の道につながることを多くの方にわかってもらうことが本来のロータリー活動だと聞いております。報われたいがために奉仕するのではなく、最も奉仕したものが結果的に最も多く報われることを一人でもたくさんの方に理解していただくことが大切だと思います。最近のIT化の進展は著しく、「利己的考え」「奉仕の心」そして総ての思い考えは即時に顕在化します。

最近会員の減少が著しい。会員増強が叫ばれるのは組織の存続・活性化のためには当然必要不可欠ですが、会員数の増強をはかると同時に一人一人の職業奉仕の実践が今まで以上に重要になると考えます。

経営と環境について雑感

杉本 直 (京都伏見RC)

21世紀の経営に於いて、特に環境問題が新たに大きなテーマとしてクローズアップされてきます。職業を通じての奉仕を基本とする私達ロータリアンは、人類社会の未来を大きく左右するこの環境問題に、積極的に取り組まなくてはならないと思います。



資源やエネルギーの埋蔵量も、自然の復元力も限りがあるのに対し、環境への負担は人口増大と経済発展により年々増大しています。こういう状況の中で、私達の経営が日々活動している事を考えれば、法律や何らかの積極的・自主的対応が必要であると思われれます。

その対応には、

1. 法的規制（公害防止）… 法律で規制された範囲での対応
2. グリーン購入 … 環境循環型社会への対応
3. ISO14000 環境管理、環境監査への対応
4. マーケット対応 … 市場メカニズム（グリーンコンシューマー）への対応

が、考えられますが、どのような対応を取るかにより、これからの経営は消費者・地域住民・取引先・銀行・株主・地方自治体等から環境に対する厳しい「企業評価」を受けることになるでしょう。そのような評価に加えて、アメリカのスーパーファンド法（政府で基金を作り、公害が発生した場合その基金ですみやかに原状復帰させ、その費用を企業に請求する）に代表される環境責任ルールと費用負担が日本にも導入されれば、環境リスクが即経営リスクとなります。

私達はロータリアンとして、大量廃棄社会から循環型社会へ、自然と人間の共生へ、事後対策から予防原則への方向を積極的に推進するとともに、企業倫理としての環境の位置づけを考えねばならないのではないのでしょうか。

留学を終えて

財団留学生「留学を終えて」 中野 悦子



[留学先]
ドイツ
デュースブルク大学
(政治学専攻)

私は京都山科ロータリークラブの御推薦をいただき、1999-2000年度国際親善奨学生としてドイツ、デュースブルク大学に留学させていただきました。大学では政治学を専攻し、おもに開発援助政策について勉強をすすめておりました。留学中は大学ではもちろん、日常生活からも様々な刺激を受け、自分自身成長出来たのではないかと感じております。

その中で一番大きいものは、「外国で外国人として暮らす」という経験です。困難やストレスも多かったのですが、それらを乗り越えることで確実に自信が付き、多少のことではへこたれない強さも身についたと思います。また特に他の外国人留学生たちとの交流から、互いに協力しあうことの大切さやその喜びも学ぶことができました。さらにはその交流を通じて様々な文化や価値観に触れることができ、日本にいるとなかなか分りにくい自分の中の「日本」も見ることができたと思います。

1年という短い期間で具体的な成果をあげるのはなかなか難しいと思います。しかしこの経験がこれからの行動の基礎として常に私の中にあることを考えると、今後の私の活動はすべてこの制度の成果だといえるでしょう。その意味でこの奨学生制度は、継続的に国際親善に寄与できる人々を確実に増やすものとして、大変意味のあるものだと思います。私自身、今後とも努力していきたいと思いません。本当にありがとうございました。

コルチェスターでの留学を振り返って 塚本 有紀



[留学先]
イギリス
エセックス大学
(歴史学専攻)

ローマ城壁が残る、イギリスで最も古い町コルチェスターにあるエセックス大学で歴史学（英国近代史:19世紀の文化、教育）を専攻させて頂きました。1年間ロータリークラブの皆様方の御支援と御厚意により、留学生生活を有意義に送れたことを感謝しております。

留学中は、勉学だけでなく、ロータリーの様々な活動を通して、地元のロータリアンをはじめ、他の国からの留学生と交流する貴重な機会を得て視野を広げ、イギリス社会を、直接の観察や体験を通して社会史・文化史的視点から考察することができたと思います。

大学の授業開始直前に開催されたLink Weekend 2001（3日間英国で勉強する奨学生たちがダービーでホームステイをしながら交流する交歓会）では、各国からの奨学生たちと出会い、意見交換やバーダンスを楽しみ、今後の健闘を誓い合い、またロータリークラブの例会やロータリークラブ主催でエセックス大学の留学生とロータリアンたちが交流するレセプションには、着物・浴衣で出席して日本の衣食住や「奈良町の庚申さん」の紹介を行い、さらにコルチェスターフェスティバルにボランティアとして運営に携わりました。

帰国後に、留学体験を報告しましたが、現在2003-04年度米英留学予定者が情報交換の為にe-groupを作り、私も失敗談や有効な情報を提供できればと、参加しております。オリエンテーション以外で交流の機会が増えれば、奨学生にとって心強いだらうと思います。

ミシガン留学記

北川 善政



[留学先]
アメリカ合衆国
(ミシガン大学)

2001年5月から9か月間、彦根南ロータリークラブの推挙により国際親善奨学生として米国ミシガン大学に留学させていただき、Medical Centerで顎顔面口腔外科の研修をしてきました。

ミシガン州Ann ArborはDetroitの西約100kmに位置する小さな都市です。私の故郷の滋賀県とミシガン州、彦根とAnn Arborは姉妹関係にあり、幼い頃からミシガンに馴染みがあり「いつか留学できたら」とずっと漠然に思っていました。今回この夢が実現して家族ともども本当に嬉しく思っています。Ann Arborは緑に囲まれ、街の中心にミシガン大学があり、街全体が大学、学生の街という印象で元気あるところです。家は大学のFamily housingを幸運にも借りることができて家族5人の思い出深いアメリカ生活となりました。

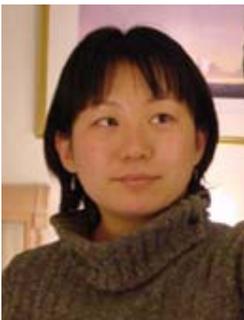
大学では主に臨床の研修で来たので、朝早いのがつらかった。毎日シャトルバスの始発で通勤、7:00から回診（毎日質問せめ）。カフェテリアで楽しい朝食の後、外来が夕方までびっしりあり夜再び回診という生活。火、木は全身麻酔の手術で週に10～12件あり、口腔癌、顎顔面変形症、外傷など最先端の技術、手技を興味深く勉強してきました。顔面の腫瘍切除の一手術法について研究課題が与えられ、研究成果をアメリカ学会雑誌に論文にすることができました。また、2002年10月にシカゴで開催された国際学会でも発表する機会があり、再びAnn Arborを訪れ、ホストカウンセラーのDr. Ginglesと再会でき嬉しく思いました。

ロータリーのMeetingでは、スピーチを数回させていただき、日本や福井、滋賀を紹介してきました。また、大学では毎週学生が4～5人ずつ顎顔面口腔外科に勉強に回ってきます。彼等に日本から持ってきたスライドを見せたり異文化など雑談をするのは本当に楽しかったです。毎週ですから合計100人以上の学生と知り合いになることができ、ロータリーの目的である親善大使としての役割は果たせたのではないかと自負しています。

慣れない異国に来て事務手続きなどストレスのたまることも色々経験しましたが、周りの人たちに助けられてとてもEnjoyすることができました。このように貴重な体験をさせていただいたロータリーに心より感謝申し上げます。

パリでの留学を振り返って

水野 清香



[留学先]
フランス
(ラ・ヴィレット建築学校)

私は2000年度奨学生としてパリにあるラ・ヴィレット建築学校で学び、翌年は実際の建築の現場で実習生として働きました。留学生を多く迎えているこの学校では自由に学ぶことができ、ヨーロッパ建築の今の雰囲気を感じることができました。この留学中、ヨーロッパ各地の歴史的な街、建築を見て歩き、その建築、街ができた背景としての人々の生活、文化に触れました。建物は何百年も動かずそこにあるけれど、そこにある人との交流や生活を知ること、本当に生きた建築を知ることができたと思います。

実習生として働いた事務所ではいろんな国の人が働き、私と同じように現場を学ぶために来ている留学生が何人もいました。お互いの国での勉強の様子や仕事の様子など、話し合うことがたくさんあり刺激を受けました。みんな自分の夢を確かに持ち、その実現に向けて、世界を舞台に活躍しているように思っていました。

さまざまなものや人との出会いは、発見であり困惑の連続です。ぶつかることもありましたが、じっくり話し合ううちに生まれ育った国の違い、文化の違いを知ることができ、またその違いを知ることがお互いを理解する最初の一步でした。そこから生まれるコミュニケーションが、人と人をつなぐ大切なものであると身を持って知ることができました。

この二年の留学は、人として、また建築を学ぶ学生として、大変貴重なものとなりました。本当にありがとうございました。

2650 地区 探訪

地区内の伝統的な「行事」や「芸能」「食」
などに関する話題を
地元RCからお伝えします



室町時代から続く 亀岡祭り

| |
|--------|
| 亀岡中央RC |
| 古前 極 |



京都に多いものは葬式と祭りであると言った人がいる。葬式は別として祭りの多さでは亀岡も他の都市にひけをとらないだろう。祭りの中で鮮やかな美しさと民衆のエネルギーを感じさすのが亀岡祭りである。祇園祭に似た山鉦から流れてくるお囃子を聞きながら、夜店の並ぶ雑踏をゆっくりと歩く。

亀岡祭りは紺屋町や本町といった旧城下町が一年の内でも最も輝く日である。祭りの前になると鉦町の子供達は授業の早退を許され、お囃子の

練習に励むのだ。宵山の夜ともなると、無数の提灯に飾られた山鉦からお囃子が、ここから、あちらから聞こえてくるだろう。

日頃目障りな電柱や電線が、夜の闇に飲み込まれてしまったかのように目立たなくなる。電柱に代表される日常が、祭りの持つ非日常の世界に敬意を払っているようにも思えるのである。

亀岡祭りは遠く室町時代から始まったと言われている。明智光秀の時代は祭礼がすたれていたが、飢饉を

きっかけに「凶作をぶっ飛ばせ」とばかりに復活したのも祇園祭に似ている。祇園祭りも都を焦土と化した応仁の乱の後より大きく再興したという。あけくれる戦乱の中で鬱屈した民衆のエネルギーが、乱後祭りの復興というかたちで爆発したのであろう。

亀岡祭りの行われる十月の下旬の頃ともなると、早朝は亀岡名物の白い霧に覆われ、ことに天気の良い日は一層霧が深くなる。それだけに朝の霧の風景と昼の快晴のコントラストが強烈で、子供の頃は朝早く親から貰った百円玉を握り締めて肌寒い霧の中で金魚すくいや射的に嵩じているうちに、あたりはすっかり雲一つない秋日和に変わっているのに気付くことがよくあった。

祭りともなると各家庭で鯖寿司をつくるのが恒例だった。家では鯖は酔いの中に一晩と長く置いていたのを思い出す。母親が亡くなり家では鯖寿司をつくらなくなって半世紀が過ぎ去った。今でも鯖寿司をつくっている家庭はあるのだろうか。

近江一の宮 たけべ 建部大社と船幸祭

大津東RC

岩崎 辰雄

近江では大津市建部大社（瀬田）が一宮になったが、この神社の主祭神は日本武尊である。景行天皇の時代に東征・西征に大活躍し、国土の軍事的統一に貢献した英雄として神話に登場する。日本列島を分断するかのように琵琶湖が立ちはだかり、東日本と西日本を分ける三関、すなわち伊勢国鈴鹿関、美濃国不破関、越前国愛発の関が、いずれも近江国の周囲に設けられことから知れるように、近江は日本列島統一という

点できわめて重要な地域であった。建部大社が軍事祭神ということで、政治、軍事上の中心である近江国府と瀬田橋にある

ことは、この神社の歴史的意味をよく示している。8月17日の建部大社の船幸祭は、瀬田川を神輿が御座船で巡幸するという、いかにも水の都、大津の祭りらしい特色をもち、大津を代表する祭りの一つとして名高い。祭礼に先立ち8月1日には「櫛



神輿の乗船

立て」が行なわれる。神事ののち、高さ1mほどの櫛が、瀬田唐橋の船乗り場と、瀬田川法堰にある御旅所供御に1本ずつ立てられ、巡幸の準備がととのえられる。8月15日から献燈祭が氏子より多数献燈される。8月17日の本祭りでは瀬田浜に到着し、大神輿4基はこの二艘の御座船にのせられて、奏楽や建部音頭を流しながら、御旅所供御まで曳行され、そこで神事をとり行い、再び隊列を整えた十数艘の船団は、御座船を先頭に瀬田の唐橋浜へさかのぼっていきます。その頃には奉納花火大会が始まり、打ちあげ花火が夜空をこがして、伝統行事に花をさかせます。



瀬田川を御座船で下る神輿